

強く美しい街づくりのきっかけに

市誕生記念「北秋田21フォーラム」

国土交通省東北地方整備局森吉山ダム工事事務所などが主催する「北秋田21フォーラム」が11月17日、文化会館を会場に約600人が参加して開催されました。

パネルディスカッションでは「地域連携における米代川への期待」をテーマに清水浩志郎秋田大学名誉教授をコーディネーターに迎え、様々な立場から8人のパネリストにより川とのかかわり方を探りました。

地元行政の立場から市長は「市民はダム完成による治水、利水、観光整備等を非常に期待しています。アイデアもたくさん寄せられていて、調整していく時期にきています」と具体策に取り組み姿勢を示しました。



地域に開かれた川づくりに反映させようと開催されたフォーラム



鷹巣中央小学校の隣接地に建設された鷹巣中央児童館

子育て支援施設が完成

「鷹巣中央児童館」竣工

このほど新築・完成した「鷹巣中央児童館」の竣工式が11月12日、脇神字高村岱の同施設で行われました。

建設地は、鷹巣中央小学校の隣接地で敷地面積は1348.75㎡。木造平屋建て344.48㎡で事業費は6794万9700円。屋内は、遊戯室、集会所兼地域交流室（和室）、児童クラブ室、図書室兼創作室、ホール、給湯室、シャワー室などとなっています。

また、身障者用トイレや玄関のスロープなどが設けられ、バリアフリーにも配慮されています。これまで、中央小学校の空き教室を利用して行われていた「放課後児童クラブ」の活動の場としても利用されます。

心地よいハーモニが会場を包む

第19回もりよし合唱祭

コール・もりよし（近藤雪美代表）主催の第19回もりよし合唱祭が11月13日、森吉コミュニティセンターで開催されました。

出演団体は、主催者をはじめ、八郎潟町女声コーラス、はまへのうたキッズ、浜辺の音楽館少年少女合唱団、MMC、大館フラウエンコール、女声合唱団ら、それ以外の市内外7団体が日ごらの成果を披露しました。

オープニングは「浜辺の歌」の全員合唱、その後、歌謡曲やクラシック、唱歌など多彩な曲目を美しいハーモニで奏で、フィナーレは「秋田県民歌（成田為三作曲）」を全員で歌い上げました。各団体の潤いのある歌声が会場に響き渡るたびに詰め掛けた約250人の聴衆から惜しみない拍手が贈られました。



コーラスの楽しさが伝わった多彩な合唱祭

昔の農機具で脱穀作業に挑戦

まるとび学園収穫祭

長期山村留学「まるとび学園」の収穫祭が11月5日、学童研修センターで行われ、学園で育てた米や野菜などの収穫を喜び合い、自然の恵みに感謝しました。

まるとび学園は、旧合川町で平成5年より継続している山村留学制度で、1年間受け入れ農家と山村留学センターを交互に生活し、今年度は4人の小学生が親元を離れ、山村留学生活を送っています。

収穫祭では、小松玉麻果さんが「待ちに待った収穫祭です。みなさんも一緒に楽しんでください」とあいさつ。「千歯こぎ」や「足ふみ脱穀機」「唐箕（とうみ）」など昔の農機具を使い、先人の知恵を体験しました。



千歯こぎを体験する子どもたち

続・在りし日の学校を偲ぶ

鷹巣地方史研究会主催「史談会」

「続・在りし日の学校を偲ぶ」と題した「史談会」が11月12日、中央公民館で開催され、廃校になった鷹巣地区の小学校の話題に地域の歴史に関心を持つ参加者が耳を傾けました。昨年に続き、廃校になった小学校の思い出を当時学校に勤務、通学していた方が話題提供者となり、沢口小学校坊山分校、綴子小学校糠沢分校、綴子小学校岩谷分校について地域とともにあった学校の思い出を語りました。沢口小学校坊山分校に勤務していた三澤昭彦さんは「演劇研究会の皆さんが学校へ公演に来てくれましたが、馬車も通れず、リヤカーに道具を積んで押しながら来てくれました」などと、交通事情も大変な時代であったことをしみじみと語っていました。



旧沢口小学校坊山分校の思い出を語る元教諭の三澤昭彦さん

熱気あふれる女性パワーが結集

多彩な出し物発表「婦人芸能祭」

北秋田市鷹巣婦人団体連絡協議会（中嶋喜代会長）主催による婦人芸能祭が11月13日、文化会館で開催され、満場の観衆の中、婦人会などによる多彩な出し物が発表されました。芸能祭は「ふるさと踊りと餅こまつり」や中央公園へのあじさいの植樹と並ぶ同協議会の三大事業の一つで、鷹巣町婦人団体連絡協議会として発足以来26年にわたって続いているものです。

この日は、有志によるフラダンス「月の夜は」でオープニングを飾り、続いて各団体の出し物が次々に演じられ、婦人会関係者や一般の入場者など、訪れた人々が踊りやコーラス、寸劇などで一日を楽しみました。



各団体の代表が勢ぞろいする中で口上を述べる中嶋会長